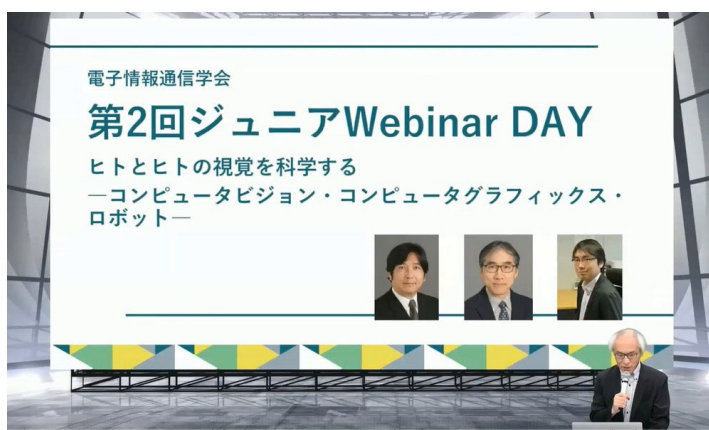


ジュニア会員の皆さん、こんにちは。今年度の前半が終わり、新学期を迎えた、あるいは、これから迎える時期です。夏休みの間、充実した時間を過ごせたでしょうか？

皆さんは、現在、何かに打ち込んでいますか？ 何かに挑戦したいと思っていますか？ 高専生の多くは、卒業後に就職します。就職試験で聞かれることの多い質問の一つに、「学生時代に（勉強以外で）最も打ち込んだこと（頑張ったこと）は何ですか？」があります。私が所属する高専では、一部の学生は放っておいても打ち込めることをいくつも自分で見つけることができますが、打ち込めることを見つけない学生が多くいるのが現実です。教員としては、そういった学生の知的好奇心を早期にどうやって刺激できるのか、どのようにサポートできるのかを考えることが多いです。

学生の知的好奇心を刺激できる機会としては、学外のコンテストやイベントに参加したり、学外の人と接点を持ったりすることが一つの方法であると思います。このLINEアカウントに登録している人は、研究に興味を持っている人が多いと思います。研究会・国内学会に参加したり、発表したりすることを期待したいところですが、少しハードルが高いのかもしれません。まずは、オンラインで行われる研究に関するセミナー（Webinar）の視聴から始め、次にオンラインで研究会や学会への聴講参加してみるのはいかがでしょうか？ ところで、8月に開催されたジュニアWebinar Dayには参加されましたか？ ジュニア会員向けのセミナーでしたが、私が視聴しても興味深く、ワクワクするような内容でした。すでに、YouTubeでアーカイブ公開されていますので、まだ視聴していない人は、是非視聴いただければと思います。



第2回IEICEジュニアWebinar Day
「ヒトとヒトの視覚を科学するーコンピュータビジョン・コンピュータグラフィックス・ロボットー」
(画像クリックで視聴できます!)

私は、8月に学校の語学研修の引率で3年ぶりにシンガポールを訪れました。新型コロナウイルス感染症の拡大から、2年半ぶりの海外出張でした。今回の出張で特に印象に残ったのが、デジタル化が進み、シンガポールと日本のどちらも、入国時に電子申請のみで紙への記入がまったく必要なかったことです。以前は、シンガポールへの入国時には、紙の入国カードへの記入が必要でした。現在は、紙の入国カードが廃止されており、事前にアプリやWebサイトから電子申請が必要でした。日本への入国についても、事前に検疫手続きをMySOSアプリやWebサイトで行い、紙で提出していた税関申告もWebサイトやアプリから提出でき、税関検査場の電子申告端末で手続き後、顔認証を使用して電子申告ゲートを通過できるようになっていました(※)。また、シンガポール入国時と日本帰国時のどちらも、ワクチン接種証明書のアップロードが必要でした。ワクチン接種証明書は、マイナンバーカードを持っていれば、デジタル庁の接種証明書アプリで即時に発行可能でした。ただ、デジタル化で便利になったといっても、接種証明書アプリを利用してワクチン接種証明書を発行していたのは私だけで、学生は市役所で発行していました。帰国時も、電子申告して、電子申告ゲートを使用している人は、ほとんど見かけませんでした。新型コロナウイルス感染症による影響を受け、様々な手続きのデジタル化が推進され、便利になってきているものの、それを多くの人を使い始めるまでには、まだまだ時間がかかりそうです。デジタル社会に向けて一歩ずつ進んでいることは実感できました。

※<https://www.customs.go.jp/kaigairyoko/egate.htm>

(宇部工業高等専門学校 三澤秀明)

